

丹波東部（竹田川流域圏）地域総合治水推進計画

～ 丹波東部地域の取組実績 ～

令和6年3月12日

【丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会】



■ 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画の基本目標

【基本目標】 総合治水の基本理念に基づき、以下の基本目標を定める。

「ながす取組」
(河川下水道対策)

竹田川、前山川及び黒井川について、戦後最大規模である昭和58年9月の台風第10号程度の洪水（土師川合流点で900m³/s）を安全に流下させ、また、特に資産が集中する黒井川については、昭和58年9月程度の洪水に対し、家屋への浸水を軽減するための河川下水道対策を段階的に実施する。

「ためる取組」
(流域対策)

従来の治水対策だけではなく、雨水を一時的に貯留・地下に浸透させ、河川等への流出を抑制する等の流域対策に取り組む。

「そなえる取組」
(減災対策)

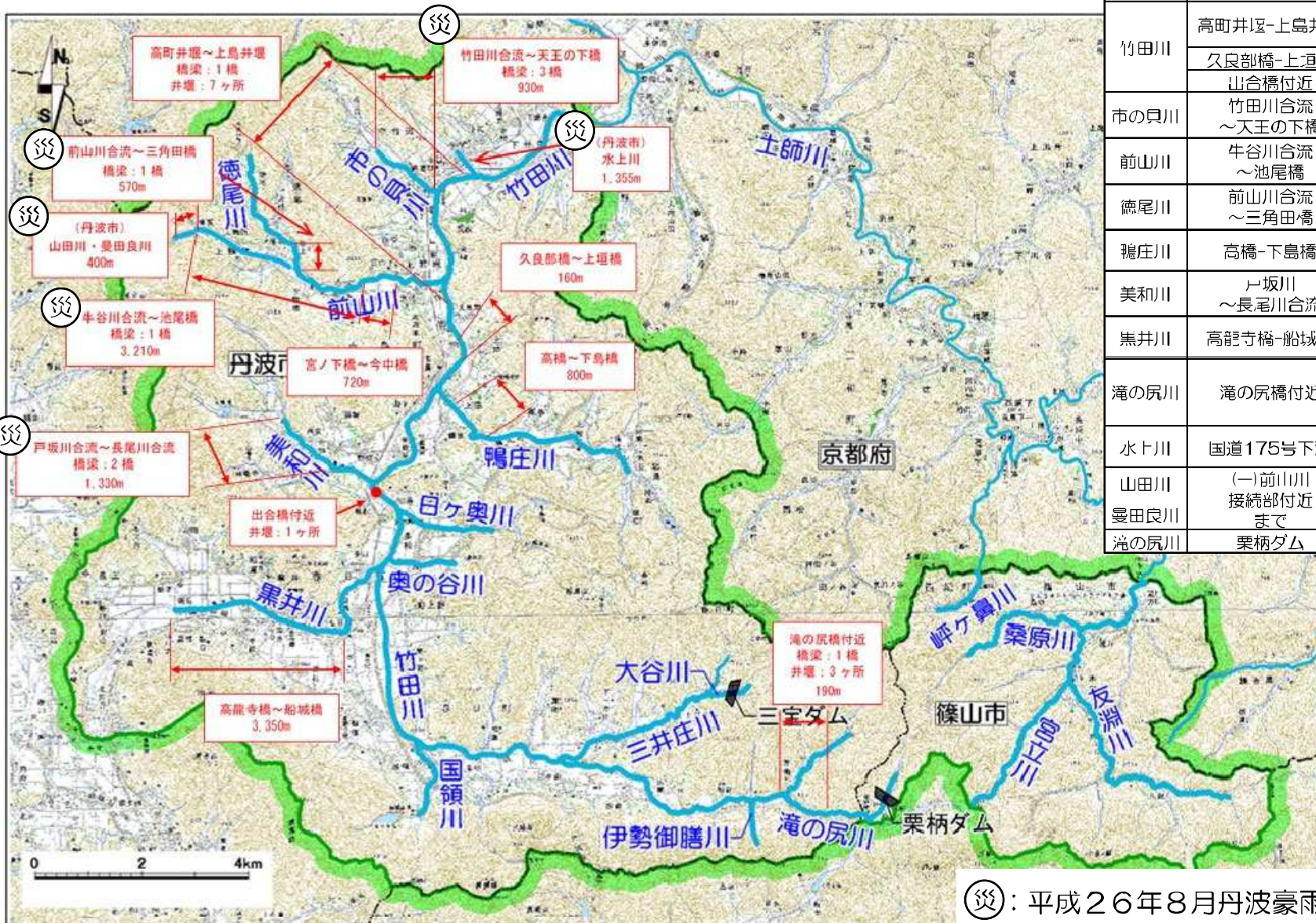
訓練等により、浸水してもその被害を軽減する減災対策を推進する。

【計画期間】 平成25年度から概ね10年間

4 河川下水道対策



事業概要



河川名	施工区間	数量	施工の内容
竹田川	高町井堰-上島井堰	橋梁：1橋 井堰：7ヶ所	河積阻害物の改善
	久良部橋-上垣橋	160m	築堤（左岸）
	出合橋付近	井堰：1ヶ所	河積阻害物の改善
市の貝川	竹田川合流 ～天王の下橋	橋梁：3橋 930m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
前山川	牛谷川合流 ～池尾橋	橋梁：1橋 3,210m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
徳尾川	前山川合流 ～三角田橋	橋梁：1橋 570m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
鴉庄川	高橋-下島橋	800m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
美和川	戸坂川 ～長尾川合流	橋梁：2橋 1,330m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
黒井川	高龍寺橋-船城橋	3,350m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
滝の尻川	滝の尻橋付近	橋梁：1橋 井堰：3ヶ所 190m	河積阻害物の改善 築堤（右岸）
水十川	国道175号下流	1,355m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
山田川 曼田良川	(一)前山川 接続部付近 まで	400m	河道拡幅、河床掘削 による河積の拡大
滝の尻川	栗柄ダム	1基	ダムの整備

災：平成26年8月丹波豪雨による災害復旧事業

河川改修

兵庫県

竹田川（河積阻害物の改善）

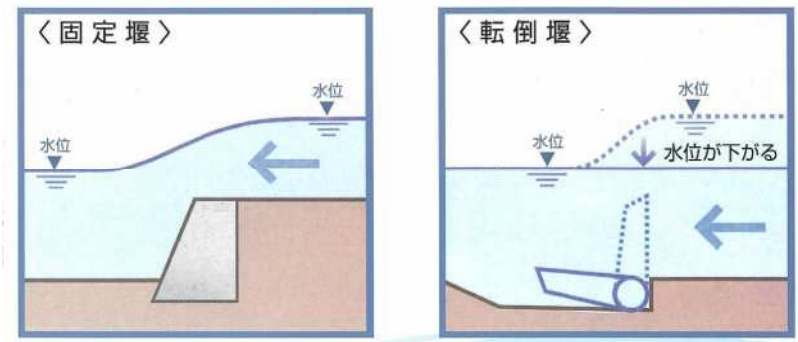
※河積阻害物の改善について
固定井堰（現在のコンクリートでできたもの）の場合、河床が高いため、洪水時の水位は高くなってしまいます。転倒堰の場合、河川水位が高くなると自動的に倒伏するため、水位が下がりやすくなり、堤防からあるれる危険性が少なくなります。では河床が高くなり洪水時に水位が高くなります。



- 河積阻害物が3箇所
- ・土手井堰
 - ・十王堂井堰
 - ・下ノ井堰

☞土手井堰、十王堂井堰、下ノ井堰の3箇所を**1箇所に統合**し、転倒堰により洪水時の水位を下げる効果を図る。

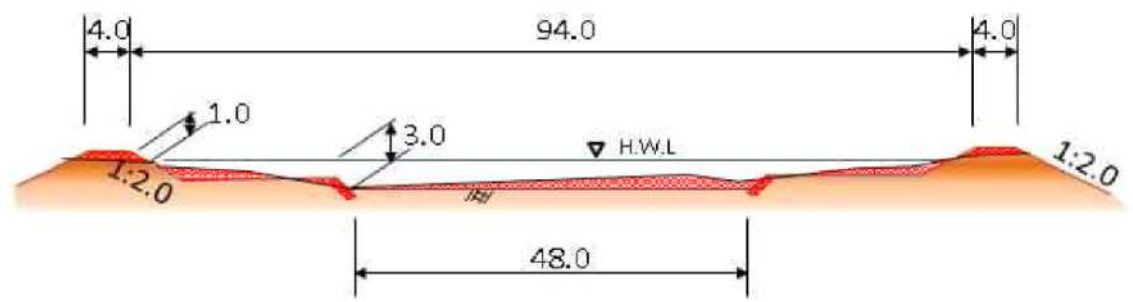
☞井堰整備の他、洪水対策として、**護岸整備、河床掘削**を行う。



竹田川
第4統合井堰

流下能力の向上
470m³/s ⇒ 750m³/s

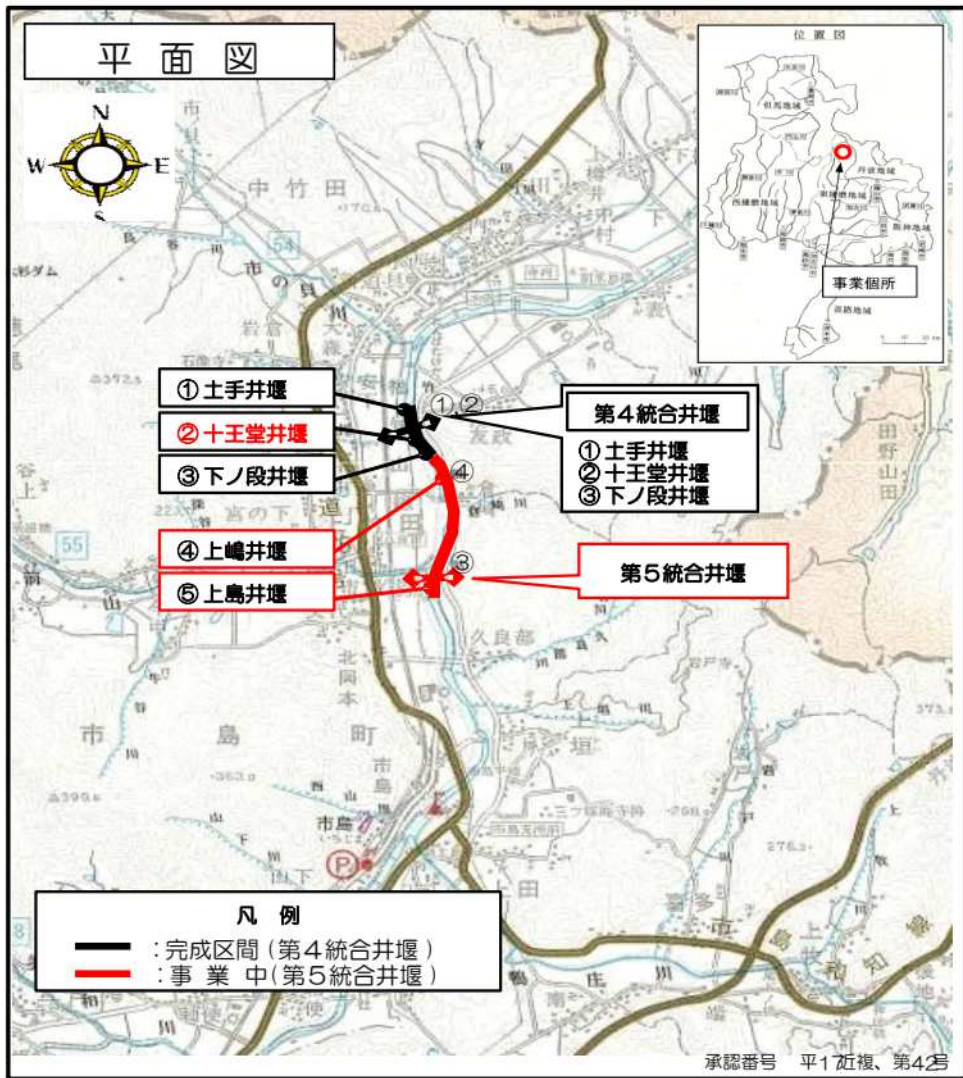
横断面図 ①（第4統合井堰付近）



河川改修

兵庫県

竹田川（河積阻害物の改善）第5統合井堰着手



第5統合井堰予定地



◆第5統合井堰

- 形式
鋼製転倒堰
- 門数 2門
- 純径間×扉高
23.65m×1.80m

現況 上嶋井堰



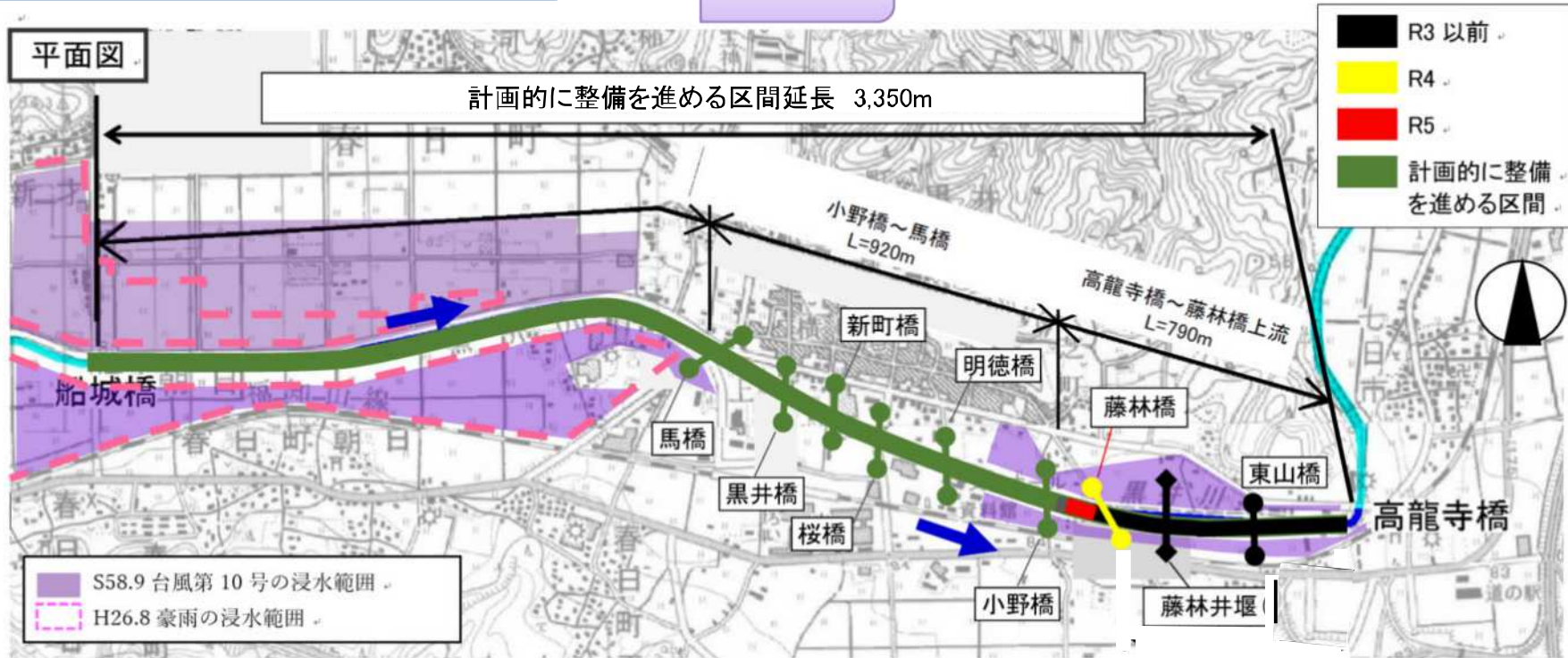
4-1 河川対策



河川改修

兵庫県

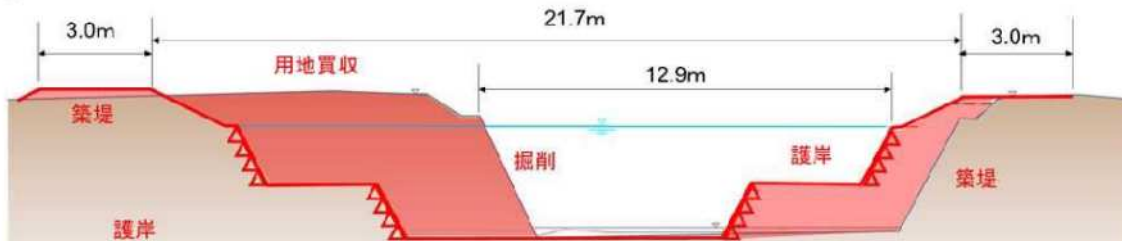
黒井川（河床掘削、築堤、橋梁改築 他）



横断図

(藤林井堰上流)

流下能力の向上
38m³/s ⇒ 65m³/s



4-1 河川対策



河川改修

兵庫県

市の貝川（河川中上流部治水対策）

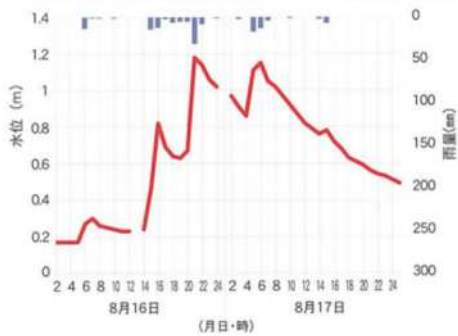


近年の災害発生状況 平成26年8月丹波豪雨

○竹田川の水位（落合橋：丹波市春日町下三井庄）

竹田川上流では下流ほどの激しい降雨はありませんでした。落合橋では水位設定はしていませんが、少ない降雨でもすぐに水位が上昇する河川で、一部護岸が被災しました。

⑦落合橋水位観測所[竹田川]・三宝ダム雨量観測所(県)

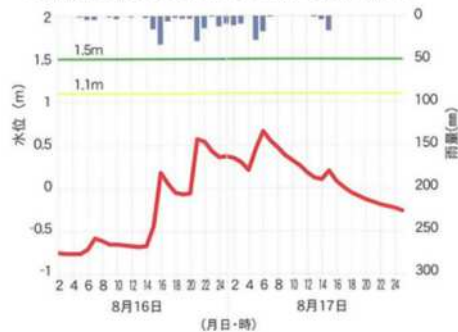


丹波市春日町三井庄川

○竹田川の水位（国領：丹波市春日町棚原）

竹田川上流よりは降雨は増え、通報水位を上回ることはありませんでしたが、護岸は被災しました。これより下流に向かって被災護岸が増えていきました。

⑧国領水位観測所[竹田川]・国領雨量観測所(県)

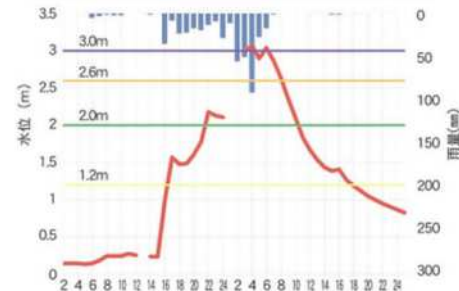


丹波市春日町棚原付近

○竹田川の水位（上田：丹波市市島町上田）

竹田川下流域では激しい降雨が続き、危険水位を超えました。本川の溢水は無かったものの、支川では土砂や流木による埋塞を伴った溢水や破堤により、浸水域が広がりました。

⑨上田水位観測所[竹田川]・北岡本雨量観測所(国)



丹波市市島町中竹田付近



丹波市市島町下鴨阪付近

丹波市市島町徳尾付近



丹波市市島町徳尾付近

4-1 河川対策



被災した河川の改良復旧等を行う

兵庫県

前山川・徳尾川（丹波市市島町）

災害関連事業の実施
前山川・徳尾川：L=3.8km

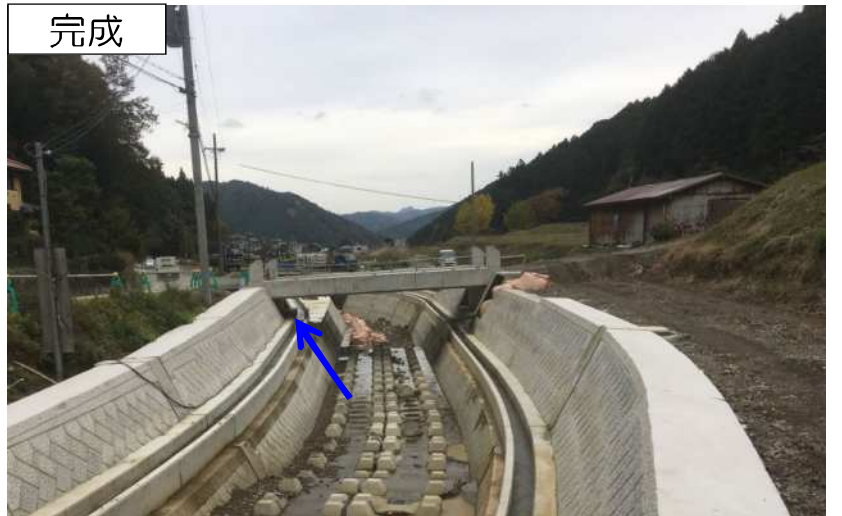
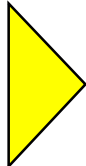
4年

H26.8月被災⇒⇒⇒H29復旧完了

平成26年8月豪雨災害からの
河川の改良復旧



前山川
池尾橋付近
(上流部)



4-1 河川対策

被災した河川の改良復旧等を行う

兵庫県

美和川（丹波市市島町）

災害関連事業の実施
美和川：L=1.3km

4年

H26.8月被災⇒⇒⇒H29復旧完了

美和川
番の田橋付近
(上流部)



美和川
高町橋付近
(中流部)



4-1 河川対策

被災した河川の改良復旧等を行う

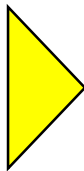
兵庫県

市の貝川（丹波市市島町）

災害関連事業の実施
市の貝川：L=1.4km

5年

H26.8月被災⇒⇒⇒H30復旧完了

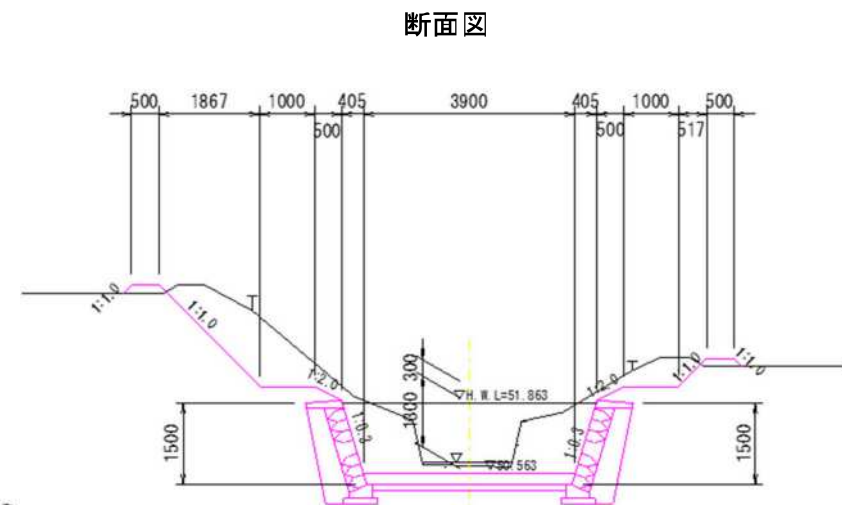
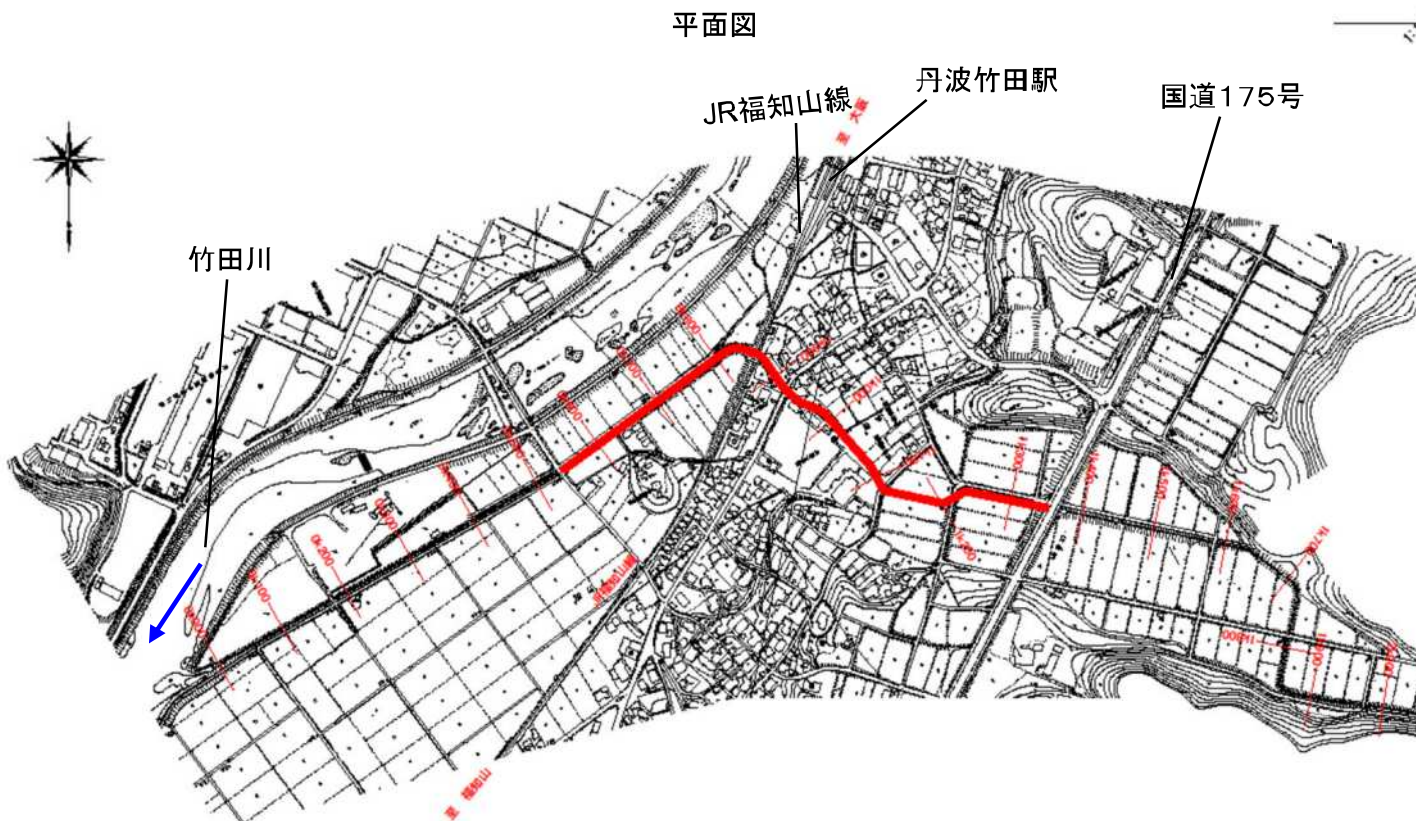


4-1 河川対策

被災した河川の改良復旧等を行う

丹波市

水上川（丹波市市島町）



平成26年8月の豪雨災害で甚大な被害を及ぼした(準)水上川において住民の安心安全な生活の確保を目的として、河川断面を拡張する河川改修事業を実施。 (L= 534.4m) R5年完成



事業概要

- 調整池の設置指導
 - 重要調整池の設置
 - 調整池の設置指導
 - 指定調整池の指定

- 雨水貯留浸透機能の確保、ダム・ため池の治水活用
 - 学校・公園・公共施設
 - ため池
 - 田んぼダム
 - 各戸貯留
 - 透水性舗装
 - 指定雨水貯留浸透施設の指定
 - 指定貯水施設の指定

- ポンプ施設との調整
 - ポンプ施設との調整
 - 指定ポンプ施設の指定

- 森林などの流出抑制機能を有する土地の保全等
 - 災害に強い森づくり
 - 篠山市ふるさとの森づくり構想
 - 丹波市森林づくりビジョン

5-1 調整池の設置指導



開発行為における調整池の義務付け

兵庫県

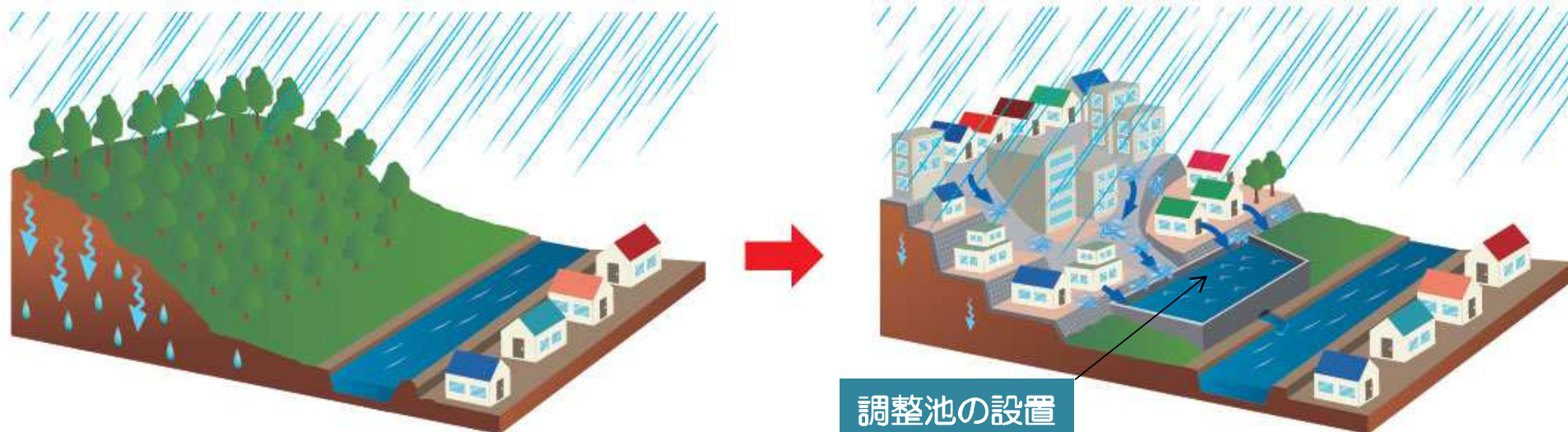
- 1ha以上の開発行為（土地の形質を変更する行為）によって、周辺地域に浸水被害を発生させる可能性が高まると認められたときは、雨水を一時的に貯留し、雨水の流出を抑制する「重要調整池」の設置及び適正な管理を義務づける。

⇒重要調整地設置件数
10年間で、2件の開発で5箇所の重要調整池設置を指導

丹波市

- 丹波市では「丹波市開発指導要綱」に基づき開発行為者に対して、雨水貯留・浸透による流出抑制対策を行うように指導している。今後においても、適切な指導を行う。

⇒1ha未満の開発に係る調整池設置指導件数
10年間で、137件(令和5年12月末時点)



■5-2 雨水貯留浸透機能の確保



ためる
流域対策

農業用ダムにおける雨水貯留容量の確保

兵庫県

大杉ダム浚渫



(大杉ダム) 着工前



浚渫工事施工状況



浚渫工事施工状況



浚渫完了

県有農業用ダムにおいて、治水利用を推進するため堆積土砂を除去し、洪水調節可能容量を確保
県単独緊急浚渫推進事業：R4～5 大杉ダムで施工（約10,000m³の容量を確保）

5-2 雨水貯留浸透機能の確保

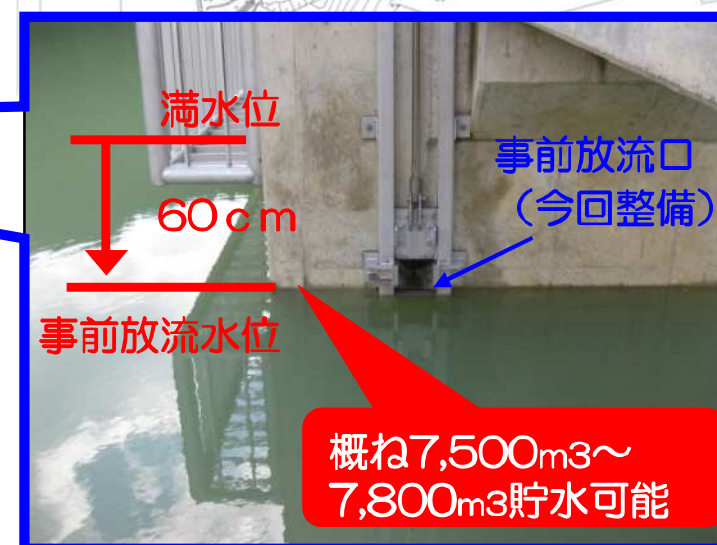
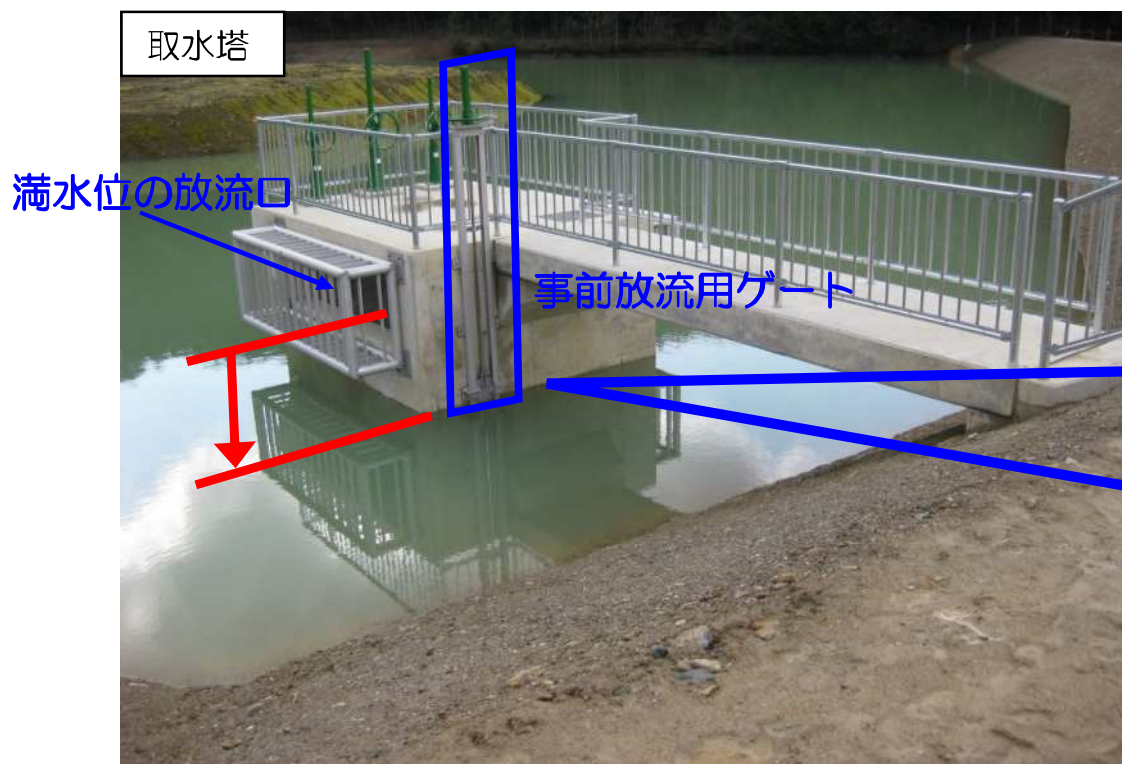
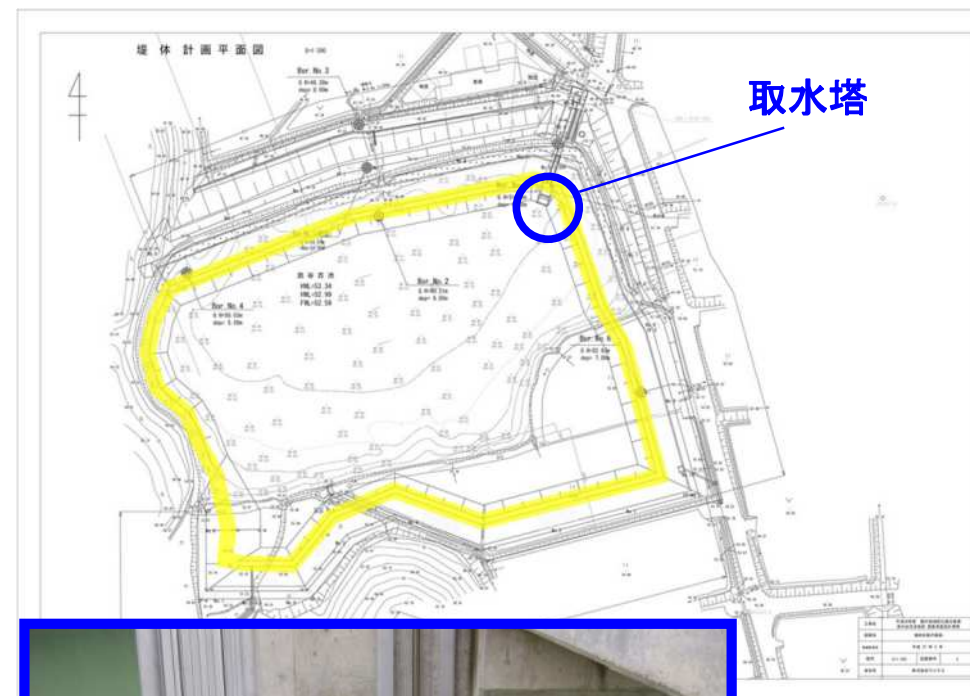


ためる
流域対策

ため池における雨水貯留容量の確保

兵庫県

奥の谷古池（丹波市春日町）



奥の谷古池改修に伴い、事前放流用ゲートを整備するとともに、ため池管理者に対し事前放流の取り組み啓発を行う。
⇒10年間で、5箇所のため池で整備済み

■5-2 雨水貯留浸透機能の確保



ためる
流域対策

ため池の事前放流の取り組み

兵庫県

ため池栓（谷田池（丹波市氷上町））



ため池栓 設置箇所



ため池栓 近影

北野自治会では、令和4年7月の台風前に、**4m**の水位を下げ、令和5年7月は、**1m**程度の水位を下げて、流域対策を実施している。
今後、ため池の「指定雨水貯留浸透施設」の指定に向けて協議する。
なお、丹波篠山市域では、**29箇所**のため池が指定されている。

雨水貯留浸透機能の整備…ため池改修時にあわせて、ため池栓や洪水吐の切り欠きを新設することで、低水位管理が容易になり、洪水調節容量の確保が促進
※ため池栓…取水施設・洪水吐とは別に設置し、事前に開放することで貯水を抑制

5-2 雨水貯留浸透機能の確保



水田貯留の推進

兵庫県

丹波篠山市

丹波市

水田貯留機能強化計画

…丹波篠山市全域、丹波市全域で策定済

水田貯留の取り組み (丹波地域)



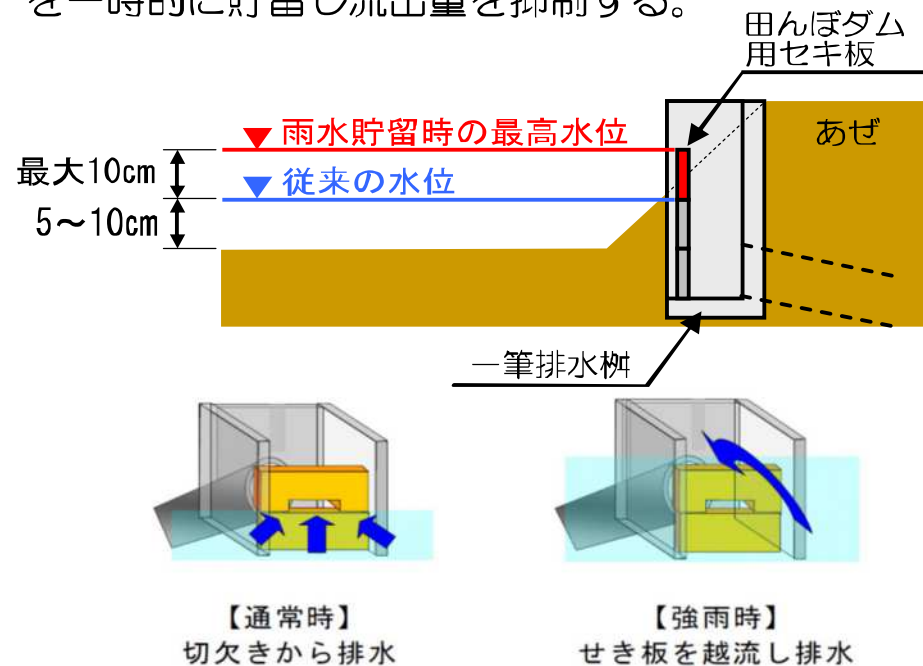
田んぼダム用「セキ板」の作成作業



田んぼダム「セキ板」設置作業

*田んぼダムとは

水田落水口のセキ板の形状を工夫し、強雨時に通常時よりも10cm高く湛水することにより、雨水を一時的に貯留し流出量を抑制する。



図：田んぼダムのイメージ(せき板)

多面的機能支払交付金

田んぼダムせき板配布枚数 1176枚

田んぼダム取組実績 39ha

⇒ $39\text{ha} \times 0.1\text{m} = 39,000\text{m}^3$ 貯留機能

多面的機能支払交付金の説明会において、田んぼダムへの取り組み啓発を行う。

■5-2 雨水貯留浸透機能の確保



ためる
流域対策

各戸貯留の推進

兵庫県

雨水貯留タンクの設置（丹波地域での啓発事例）



県民への普及啓発を兼ね、県立丹波並木道中央公園(丹波篠山市)に雨水貯留タンク(容量約200L)を設置
現在も夏に花の水やりに使用している。

雨水貯留タンクの活用



放水前の
タンク水



放水後の
タンク内

雨水貯留タンク内の水を秋雨前線等の前には、事前放水（夏期等は庭木の灌水にも利用）

■5-3 ダム・ため池の治水活用



ためる
流域対策

ため池の事前放流手法の啓発

兵庫県

丹波篠山市

丹波市

ため池管理者への講習会

丹波篠山市
治水協定を締結したため池において、事前放流など利水以外の操作管理に要する取組に対して助成
(指定雨水貯留浸透施設のため池：29箇所)
丹波市
ため池管理者への水利施設管理強化事業により事業の実施団体を募集



- ため池管理者を対象に「ため池管理基礎」及び「ため池事前放流」をテーマとした『ため池管理者講習会』を開催
⇒10年間で、丹波篠山市：10回・延べ658名参加、丹波市：9回、延べ410名参加
- 台風接近に備え、ため池事前放流を啓発



災害に強い森づくり

兵庫県

丹波篠山市

丹波市

- スギ、ヒノキの人工林について、関係機関、森林所有者、地域の県民等と連携し、間伐を推進
- 間伐対象の人工林について、表土侵食防止対策、溪流対策を実施
- 針葉樹と広葉樹の混合整備を実施

⇒10年間で、3,216haの森林整備を実施。

「県民緑税」
の活用

今後は「森林環境譲与税」の活用により、さらなる間伐の実施が期待できる。

参考

間伐が適切に実施されている森林は・・・

- ◆1haの間伐効果は「健全な森林の目安となる土砂流出量は年間1m³/ha以下」とされており、「間伐+簡易土留工」を実施すると、0.41m³/haに抑制できる。

出典：災害に強い森づくり検証結果

- ◆林内に適度に光が射し込み、下草などの下層植生が繁茂しているため、水源かん養機能や土砂流出防止機能が高い。幹が太く、生育が良くなり、風や雪にも折れにくい。下層植生が豊かで生物多様性が維持される。

出典：農林水産省(林野庁)ホームページ (<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kanbatu/suisin/kanbatu.html>)



市島町下竹田

簡易土留め工による表土侵食防止対策



鋼製かご枠による簡易防災施設(例)



下層植生が豊かな人工林(例)



丹波篠山市ふるさとの森づくり構想 ～温故知森～

丹波篠山市



丹波篠山市では、「丹波篠山市ふるさとの森づくり構想 ～温故知森～」を策定し、すべての市民が森林に目を向けるようになるための様々なプロジェクトを実施

プロジェクト（一部抜粋）

木育の推進
プロジェクト

幼いころから森への関心をもち、森林の多面的機能を理解した子供を育てるため、木や森とふれあう木育事業を実施
◆木育キャラバンの実施など

木育キャラバンのようす



森林整備を行う人材
育成プロジェクト

地域コミュニティ
による森林の資源化
プロジェクト

木材としての利用促
進プロジェクト

エネルギーとしての
利用促進プロジェク
ト

人工林管理大作戦
プロジェクト

市民参画による森林整備を進めるため、森林整備に携わる人材の育成や、木の駅プロジェクトに取り組む団体を支援

森林資源のバイオマス利用や木材利用を進めて、森林に対する価値観を高めることで、市民の森や整備意識を造成させるための取り組みを実施
◆市有施設へのペレットストーブの導入など

適正な間伐などの実施を促し、樹木がより健康に成長し、また下層植生が繁茂できるように人工林の適正管理を促進

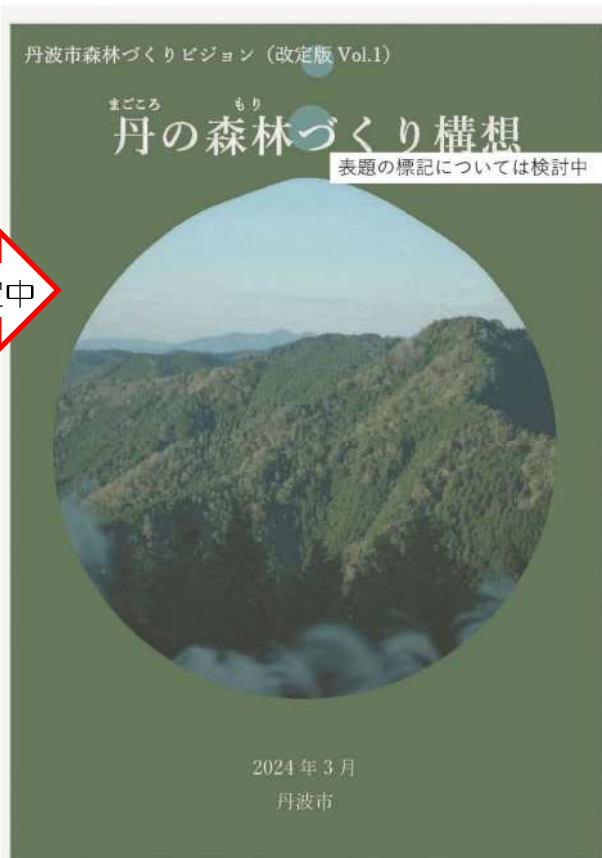


丹波市森林（もり）づくりビジョン

丹波市



改定中



災害に強い
水源の森林

①源流の森林づくり

丹波市の地形的特徴である加古川及び由良川の源流を有することは、本市の森林づくりにおいて意識しなければならないところです。さらに、本市に限らず下流域にも影響を与える重要な場所となるため、森林の持つ多面的機能の中でも特に水源涵養機能を高めていくことが必要です。

また、溪流沿いの森林管理に取り組むことで、環境保全と生物多様性の保全につながる「源流の森林づくり」を進めていきます。



写真：溪流沿いの間伐及び簡易防災施設



写真：丹波市の花、カタクリの群生地

②里山保全の森林づくり

近年多発している豪雨災害により、森林の持つ山地災害防止及び土壌保全機能への関心が高まっています。意識調査アンケートにおいても災害防止機能への期待が高いことから、災害に強い森林づくりを引き続き進めていく必要があります。

また、市民の森林管理への参加に対する意識の高まりにより、里山整備に取り組む市民活動団体が増加しています。

災害予防と住環境の向上につながる「里山保全の森林づくり」を進めていきます。



写真：人家裏の危険木伐採による災害防止



写真：市民活動団体による里山整備

平成24年度に丹波市の森林において、長期的な視点に立った目指すべき森林の姿や、それを実現するための基本方針を示した「丹波市森林（もり）づくりビジョン」を策定している。

ビジョン策定から10年余りが経過する中で、全国各地で豪雨災害が多発し、本市においても2度の大きな災害に見舞われ、山地災害防止などの総合治水の観点からは注目されており、現在、**丹波市森林（もり）づくりビジョン検討委員会を開催し「丹波市森林（もり）づくりビジョン」を令和6年度に向けて改定に向けて取り組んでいる。**

特に、総合治水計画に係る内容はとしては、①源流の森林づくり、②里山保全の森林づくりの基本方針が位置づけられる。



事業概要

○浸水が想定される区域の指定

- 浸水情報等の周知
- まるごと・まちごとハザードマップ
- ハザードマップの作成・周知、更新
- 水防法改正に伴う洪水浸水想定区域の指定
- 氾濫危険水位等の見直し

○県民の情報の把握

○防災情報の伝達

- 雨量・水位情報
- 河川監視画像
- 氾濫予測情報
- 河川情報の伝達
- 防災行政無線
- 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の策定・見直し
- 災害行動マニュアルの作成

○浸水による被害の軽減に関する学習

- 防災リーダーの育成
- 手作り防災マップの作成支援
- 地域防災力の強化

○浸水による被害の軽減のための体制の整備

- 水防活動等への支援
- 水防活動等への支援
- 広域的な避難を含めた避難先の指定
- 共助の取組推進
- 協定締結

○訓練の実施

○建物等の耐水機能

○浸水による被害からの早期の生活の再建

- フェニックス共済への加入促進

6-1 浸水が想定される区域の指定



防災マップの更新

丹波市

丹波篠山市

令和3年3月に、丹波篠山市防災マップ（ハザードマップ）を更新し、全戸配布した。

災害種別	(水害)
確認! [判断材料の入手] (何が危険? 入居の程度を確認)	
いつ? [逃げ時] (何がどうなるか?)	何もない
どこに? [避難先] (どこにどのルートで?)	何もない
どのように? [避難する方法] (どれがよい方法?)	何もない

緊急時の連絡先	
わたしに連絡がつかない場合は、こちらに連絡	
その他(家族構成などメモ)	

防災情報の入手	1~3
過去の災害	4
乗引図	5~6
詳細図	7~42
わたしの、わが家の避難計画	裏表紙

現行の冊子版丹波市防災マップ

現行のWeb版防災マップ

令和3年6月に、冊子版丹波市防災マップを更新し、市内全戸及び事業所に配布した。
また、Web版防災マップも丹波市HPにて公開している。



各種防災情報の入手方法の啓発に関する取組

兵庫県

丹波福山市・丹波市

丹波県民局からのお知らせ

丹波版の問い合わせは ▶ 丹波県民局県民交流室総務防災課へ
〒669-3309 丹波市柏原町柏原688

☎0795-73-3719 ☎0795-72-3077

ホームページ [丹波県民局]
柏原総合庁舎 ☎0795-72-0500(代番)

困ったとき、まずは[さわやか県民相談]へ
☎0120-32-7830(携帯電話からは代表番号へ)
【受付】平日(祝日等を除く)9時～17時30分

公助・共助・自助で 自然災害に備えよう

6月は 土砂災害防止月間 豊かなむらを災害から守る月間

長雨や豪雨による災害が発生しやすい季節。県民局ではさまざまな防災対策に取り組んでいます。地域や家庭でも自然災害への備えを今一度確認しましょう。

☎丹波土木事務所 ☎0795-73-3845 ☎0795-73-0034 ☎篠山土地改良事務所 ☎079-552-7417 ☎079-552-5576
☎丹波農林振興事務所 ☎0795-73-3797 ☎0795-72-4063

公助で備える

豪雨に備えた河川対策

豪雨による川の氾濫から地域を守るため、川底の掘り下げや川幅を広げる工事はもちろん、堤防の損傷の早期発見を目的として、堤防点検の前に除草作業を行っています。

真実野所調査のための除草作業(丹波市山南町)

災害に強い森林の再生

山崩れなどが起きた場所の傾斜を緩やかにし、大雨時の土砂の流出を防ぐ治山ダムを設置。崩れた部分の土砂の流出を防ぐことで植物が育ちやすくなり、山が緑に覆われた美しい姿へ戻ります。

治山ダムにより土砂の流出を防止(丹波市山南町)

防災パトロールを実施

梅雨や台風に加え、県、市、警察、消防などが合同で、決壊の危険性があるため池や、土砂災害の危険地などの点検を実施。大雨時の想定リスクの共有や地域住民への防災指導を行います。

ため池の危険箇所を点検中(丹波福山市今田町)

共助で備える

災害時に生きる「あなたの強み」

どんなことでも誰かの役に立つことができます。料理が得意な人は炊き出し、会話が好きな人なら避難所での話し相手など、自分の力を発揮できる場所が必ずあります。普段からご近所さん同士、お互いに何が得意か、何の趣味を持っているか知っておくと、いざというときに役割分担して支え合うことができます。防災だからといって難しく考えることはありません。まずは、災害が起こったとき、自分に何ができるか考えてみることから始めましょう。

丹波市社会福祉協議会事務局長 松浪 豊さん

自助で備える

危険を確認しよう! 県CGハザードマップ

パソコンやスマートフォンで浸水範囲や避難場所が確認できます。自宅や勤務先周辺などをあらかじめ確認しておきましょう。

詳しくはこちら /

情報を活用しよう! ひょうご防災ネット

避難に関する情報や緊急気象情報をはじめ、防災に関する情報をリアルタイムで得られます。ホームページ版のほか、スマートフォンアプリ版も。

Android iOS

みんなで入ろう!

県住宅再建共済制度 フェニックス共済

年額5,000円で最大600万円の給付

簡単な加入 迅速な給付 県の安心・安全な基金制度

☎丹波県民局総務防災課 ☎0795-73-3718 ☎0795-72-3077

フェニックス共済 応援企業大募集!

県では、フェニックス共済を応援してくれる企業・団体の登録制度を始めました。SDGs実現にも貢献できる取り組みです。

☎県危機管理部防災支援課 ☎078-362-4336

応募内容	応援内容
● 社員への同共済の紹介	● 同共済の福利厚生としての導入
● 同共済のポスターリーフレットの掲示	

毎年、出水期前の県民だよりひょうご丹波地域版(6月号)で地域防災力を高める取り組みを特集掲載し防災意識啓発に取り組んでいます。



情報の配信

丹波篠山市

丹波市

市役所窓口にチラシを設置するなど、防災メールへの登録を推進している。

令和5年度登録件数 およそ3800件（市全域）

自主防災組織等が開催する研修会でチラシを配布するなど、「ひょうご防災ネット（スマートフォンアプリ）」の登録を推進した。

令和5年度新規アプリ設定 1,008件（R06.12/全県）

6-3 防災情報の伝達



各種防災情報の入手方法の啓発に関する取組

兵庫県

丹波篠山市

丹波市

項目	実施場所	時間	主な内容	
体験学習ガイダンス	視聴覚室	30分 ～ 60分	施設紹介や暮らしの中での防災、防火など災害への備えのアドバイス、体験型学習の説明をします。	
体験型学習・訓練	①地震体験	起震車	30分	起震車に乗車し、震度別や過去に発生した地震の揺れを体験します。
	②煙避難体験	耐熱耐煙訓練室 (主訓練棟 2F)	30分	模擬煙(水蒸気)が充滿した迷路室での避難体験をします。
	③消火器取扱体験	屋外訓練場	30分	薬剤に代えて水を注入した消火器を使った取扱体験をします。
	④屋内・屋外消火栓 取扱体験	放水壁前広場	30分	屋内・屋外消火栓を使った消火体験をします。
	⑤簡易救出器具 取扱体験	屋外訓練場・ 補助訓練棟	30分	避難、救出に役立つロープ結索、ボール、ジャッキ等簡易救助資機材の取扱体験をします。
施設等見学	⑥消防等関係 車両見学	屋外訓練場	30分	消防学校の訓練車両を活用し、各車両の役割や機能について説明します。
	⑦備蓄倉庫見学	陸上競技場 バックスタンド (三木総合防災公園内)	30分	防災公園内の陸上競技場のバックスタンド下に設置された備蓄物資・資機材を見学します。
自主学习	展示コーナー		体験型学習・訓練の参加者や来館者向けのオープンスペースとして防災に関する各種の情報を提供します。 (防災情報端末、防災資機材展示、グラフィックパネル等)	

※時間は、20名様のグループでの所要時間を示します。人数によって所要時間は前後します。



地震体験



消火器取扱体験



備蓄倉庫見学

兵庫県広域防災センターでは、様々な防災学習の機会を提供しており、丹波県民局管内でも、防災センターの防災の専門家と協働して、地域の防災意識の向上、学習機会の提供、防災知識の向上に取り組んでいる。

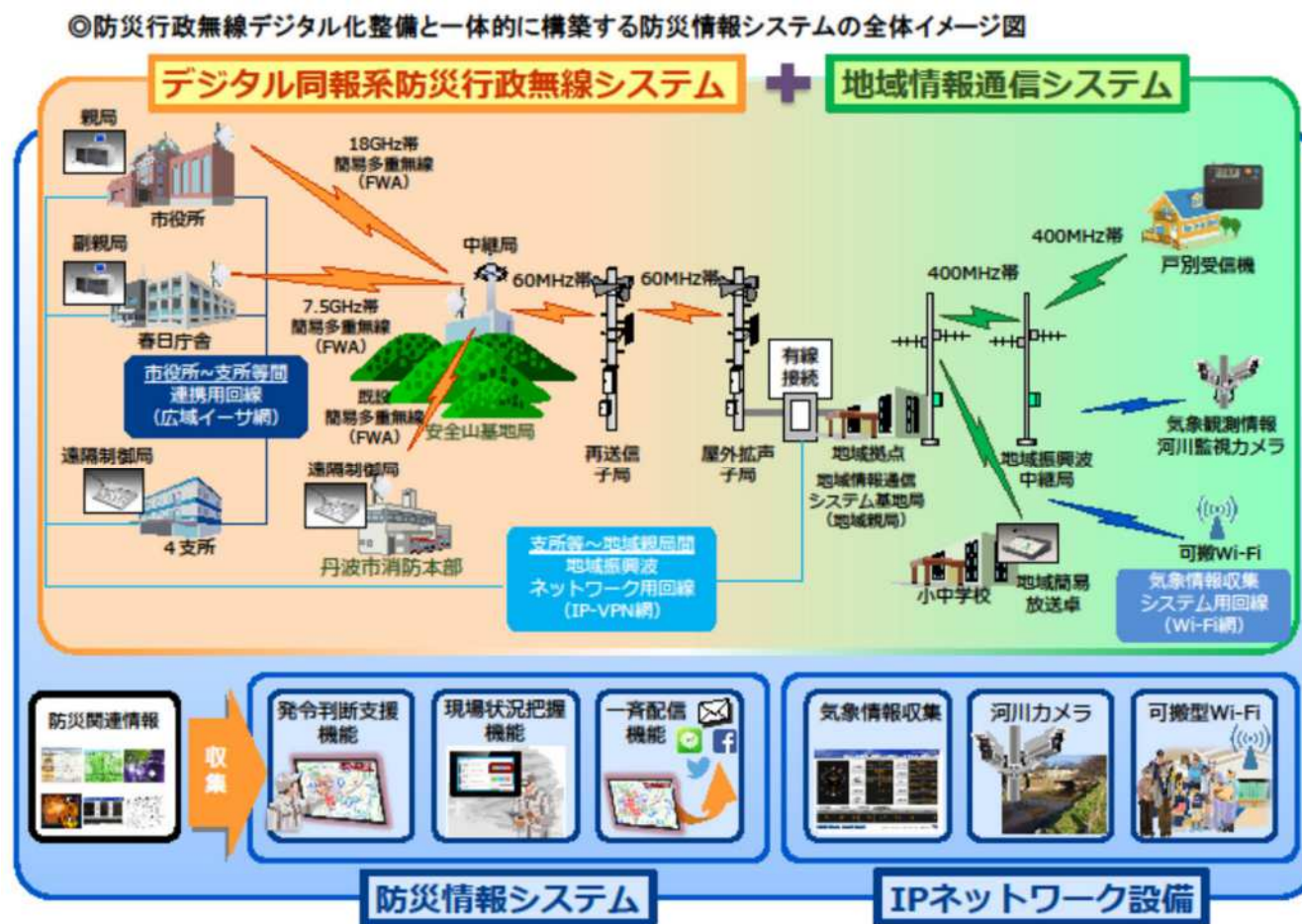
6-3 防災情報の伝達



防災行政無線設備のデジタル化

丹波市

丹波篠山市



令和2年2月に防災行政無線設備の供用を開始し、緊急情報を即座に伝達できる仕組みを構築した。
春日町及び市島町に気象観測装置を設置し、竹田川流域付近の雨量を観測することができる仕組みを構築した。

防災の担い手となる人材育成に関する取り組み

兵庫県

丹波篠山市

丹波市



丹波地域ひょうご防災リーダー講座を開催し、防災リーダーを育成

○実績

H28 : 6回、30名

R1 : 6回、30名

R4 : 4回、57名

⇒ 117名の防災リーダーが誕生

6-5 浸水による被害の軽減のための体制の整備



そなえる
減災対策

共助に関する取り組み

丹波篠山市

令和5年度 丹波篠山市防災学習等実施実績（予定）

防災学習のようす



丹波篠山市では、専門家の協力を得て、自主防災組織等を対象とする防災学習機会の啓発に取り組んでいる。

分類	日時	自治会名・団体名	内容	参加人数
自治会等	5月27日	新荘自治会	福祉世帯研修	25
	6月24日	味間美片自治会	福祉世帯研修	45
	7月1日	三小野原自治会	防災学習	15
	7月8日	瀬利自治会	マップづくり	35
	7月28日	和戸自治会	マップづくり	35
	8月19日	味間東自治会	防災学習	30
	8月26日	大戸自治会	マップづくり	17
	9月9日	端ヶ塚自治会	防災学習	25
	11月25日	南新町自治会	マップづくり	20
	1月23日	くもべまちづくり協議会	防災学習	45
	2月25日	六郷自治会	防災学習	20
	3月16日	西紀庄まちづくり協議会	防災学習	
	3月17日	真河桑上自治会	防災訓練	
	3月31日	黒戸自治会	福祉世帯研修	
小計		14		312
学校等	6月22日	西紀児童クラブ	避難訓練	40
	9月30日	城町小学校（4年生）	防災学習	27
	10月26日	古市小学校（4年生）	防災学習	17
	10月30日	多紀小学校（4年生）	防災学習	17
	2月19日	城東児童クラブ	避難訓練	35
	3月1日	今田児童クラブ	避難訓練	
小計		6		136
各種団体	4月6日	市市愛育社	防災学習	20
	5月25日	小規模多機能施設ひまわり	防災学習	20
	6月20日	民生委員研修会	防災学習	103
	8月7日	玉水老人クラブ	防災学習	15
	3月15日	自治会長会	防災学習	143
小計		5		281

防災訓練に関する取り組み

兵庫県

「ひょうご安全の日」丹波地域のつどい

「ひょうご安全の日」地域のつどいとは

安心して安全な社会づくりをめざし、県下の各県民局・県民センターを中心に、各地域の防災の課題等を踏まえた、防災訓練や講話等を行っている。丹波県民局では、毎年1月17日を中心に実施。



令和6年1月17日に丹波篠山市の西紀北小学校にて児童及び保護者、地域住民を対象に防災訓練を実施



水害に対する保険制度等の加入促進

兵庫県

- 管内市・自治会の協力を得てパンフレット等を全戸配布
- 市広報誌への掲載依頼
- フェニックス共済加入促進員による個別訪問、出前受付
新聞朝刊に出前受付チラシを折り込み など

丹波篠山市

- 市役所庁舎（支所含む）でパンフレット等配布
- 市広報誌への記事掲載 など

丹波市

- 自主防災組織等が実施する訓練等の際に共済内容の周知及び
パンフレット等配布
- 市広報誌への記事掲載 など

⇒ 加入率 丹波篠山市12.7% 丹波市13.7%
(R6.1月現在 県民局管内全戸29,183戸)

兵庫県が実施する安心の制度

フェニックス共済

【兵庫県住宅再建共済制度】

小さな負担で、大きな安心。

年額 **5,000円** の掛金で
最大 **600万円** の給付!

自然災害で被災した住まいの建築・購入・補修に備える

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・洪水など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数・規模・構造等に関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険・他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

フェニックス共済
+
地震保険・他の共済

兵庫県

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

☎078-371-1000 (平日9:00~17:00)

神戸市中央区中山手通6丁目1番1号 兵庫県生田庁舎2階 FAX078-371-1010
URL: <https://www.jutakusaiken.jp> フェニックス共済

7 環境の保全と創造への配慮

環境へ配慮した取り組み

丹波篠山市



令和2年度 友淵川支川の篠淵川にて魚道整備

7 環境の保全と創造への配慮

環境へ配慮した取り組み

丹波市

山田川（丹波市市島町）

被災



完成



自然に近い平面形状



生物・魚類の生態系に配慮し、
残地部分は極力河道幅を広げ、
より自然に近い平面形状とした。



緩傾斜落差工



河床勾配に変化をもたらすことで
川によどみができ、多様な生物の
生態系の創出が可能になることから
自然石等を用いて落差を分散させる
緩傾斜落差工を採用。



(普)山田川河川災害関連事業 多自然川づくりにより整備(平成28年度完了)

7 環境の保全と創造への配慮

人と自然が共存する川づくり

兵庫県

丹波市

環境学習の実績

令和5年7月4日 丹波市立久下小学校 15名 石戸川
令和5年7月11日 丹波篠山市立多紀小学校 16名 藤坂川
令和5年7月25日 丹波市立青垣小学校 11名 遠坂川



丹波地域は、加古川、武庫川、由良川の3つの河川の源流域に位置しており、緑豊かな山々と美しい清流などの豊かな自然に囲まれた地域。

環境学習では、自然とふれあい、命の息吹やつながりを感じ、かけがえのない自然や命を大切にする心、自ら考え、行動し、問題を解決する心を育てる取組を行なっている。